

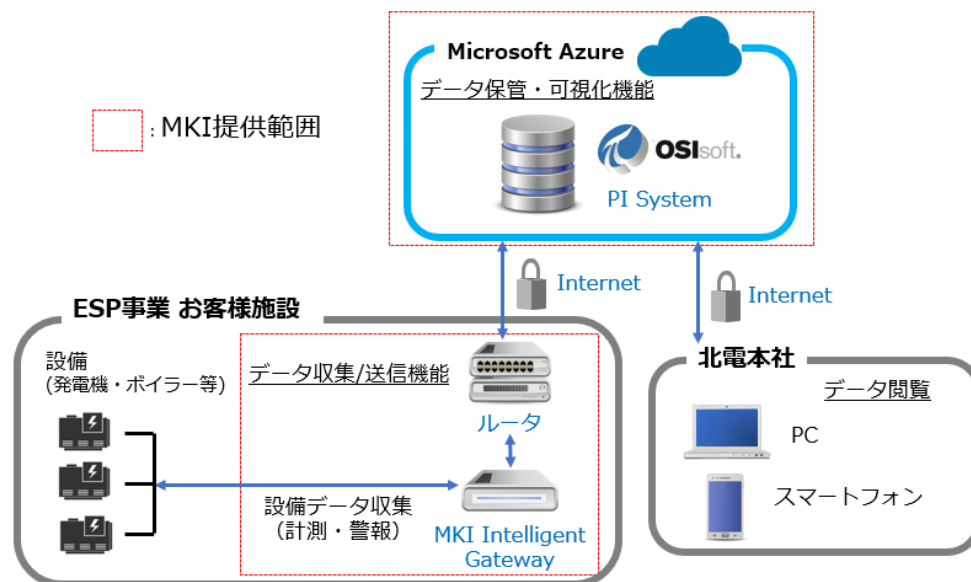
MKI、北海道電力に「ESP 事業向け遠隔監視システム」を導入 - MKI Intelligent Gateway と PI System、クラウド活用により優れた拡張性を実現 -

三井情報株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:小日山 功、以下 MKI)は、北海道電力株式会社(本店:北海道札幌市、代表取締役社長:藤井 裕、以下 北電)に、「ESP 事業向け遠隔監視システム」(以下 本システム)を導入しました。本システムは発電機等の設備やセンサーから収集したデータを、自社開発のゲートウェイ「MKI Intelligent Gateway」経由で、OSIsoft, LLC(本社:米カリフォルニア州、Founder and CEO:Dr. J. Patrick Kennedy、以下 OSIsoft)のデータ管理ソフトウェア「PI System」(パイシステム)に収集し、保管・可視化するもので、クラウドプラットフォームには日本マイクロソフトの Microsoft Azure(以下 Azure)を使用しています。

ESP(エネルギー・サービス・プロバイダ)事業は、工場やオフィスビル、商業施設等を持つ顧客に対し、エネルギーの調達から設備の運用・保守、管理を含むエネルギー関連業務をワンストップで提供する事業で、近年多くの電力会社やガス会社が力を入れています。

今回導入した本システムは、設備やセンサーからのデータ収集と制御において豊富な導入実績のある MKI Intelligent Gateway と、収集したデータの分析・可視化に優れた PI System を組み合わせ、北電が顧客向けに提供する ESP 事業で使用される発電設備の効率的な遠隔監視・分析を支援します。またクラウドプラットフォームに Azure を利用することで、高い拡張性や早期構築を実現しました。

■システム概要図



PI System は、発電機等の産業用機器のセンサーからデータを集積しその運用を可視化・デジタル化するシステムで、世界の 1 万 9 千カ所以上の工場・プラントへの導入実績があります。また MKI Intelligent Gateway は監視対象設備との柔軟な接続や制御が可能で、MKI は従前よりその特長を活かし空調制御システムの「GeM2」や「太陽光発電監視システム」など省エネに貢献する遠隔監視システムを、Azure を活用したクラウドサービスとして提供しています。

MKI Intelligent Gateway と PI System を組み合わせた本システムでも、設備制御や省エネへの活用が可能であり、MKI はその提供を通して今後も北電の ESP 事業を支援していきます。

【関連ページ】

製品・サービスのご紹介: https://www.mki.co.jp/solution/osisoft_pisystem.html

OSIsoft Japan ホームページ: <https://pages.osisoft.com/rp-japan.html>

【三井情報株式会社について】

三井情報株式会社(MKI)はキャッチコピー『ナレッジでつなぐ、未来をつくる』を掲げ、ICT を基軸とした事業戦略パートナーとしてお客様の IT 戦略を共に創り、デジタルトランスフォーメーションを支援しています。半世紀に渡り培った技術や知見の結実である“KNOWLEDGE”を活かし、お客様と共に価値を創造する「価値創造企業」として絶え間ない挑戦を続けていきます。

ホームページ: <https://www.mki.co.jp/>

※三井情報、MKI 及びロゴは三井情報株式会社の商標または登録商標です。

※OSIsoft®、および PI System™は OSIsoft の登録商標です。

※Microsoft、Azure、マイクロソフトおよびロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

※本リリースに記載されているその他の社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

【報道関係者からのお問い合わせ先】

三井情報株式会社

経営企画統括部 戦略企画部 広報・CSV推進室

TEL : 03-6376-1008 E-mail : press-dg@mki.co.jp

【本製品サービスに関するお問い合わせ先】

三井情報株式会社

デジタルトランスフォーメーションセンター スマートサービス営業部

TEL : 03-6376-1257 E-mail : iot-sales-dg@mki.co.jp